

東京バッハ合唱団 月報

[第 558 号] 2008 年 12 月

〒156-0055 東京都世田谷区船橋 5-17-21-101 Tel : 03-3290-5731 Fax : 03-3290-5732
E-mail : bachchortokyo@aol.com http : //www2.tky.3web.ne.jp/~bach/chor/

BACH-CHOR, TOKYO

Monthly Newsletter No.558
December 2008

5-17-21-101 Funabashi,
Setagaya-ku, Tokyo

多事多難の年の終りに

大村 恵美子

2008 年ほどずっしりと現実の重みが、身に降りかかってきた年は、これまでになかったように思われます。

日本の政治空白や無責任行政のすえの社会生活の荒廃、また秋から突如表面化した世界同時金融危機など、ひとりひとりの個人にまでゆきわたった恐怖と不安。長年一極突出の害毒をふりまきつづけたアメリカで、何よりも“Change”を象徴する大統領が誕生したことは、唯一の希望として世界中から迎えられ、かろうじて破局の中に息をつける事件となりましたが、その展開はまだ誰にも予見できないでいます。

私たちは、こんな息苦しい世の中であればこそ、いつそうの思いをこめて、今年も5月、7月・8月、12月と、バッハの音楽を演奏しつづけてきました。また、ベルリンのアンメ牧師という強力なプロモーターを1997年末に失って、バッハの祖国との交流を断念しかけていたものが、南吉衛牧師（アンメ牧師の日本側での協働者であられた）のシュトゥットガルトの教会赴任を機会に、ぜひもう一度と呼びかけられ、5回目の演奏旅行に踏み切ったのですが、よりによって大不況突入の時期に重なりました。

こんな混迷のときに、私たちはどのように生きればよいのか。じっと耐えて、何年つづくかわからない期間を、鳴かず飛ばず、景気的好転を待ちのぞみながら暮らすしかないのでしょうか。そんなことよりも、社会的・経済的格差をなくす努力とともに、生活内容もよく吟味しなおして、今こそ、有意義な内容への集中を考え、自分をはげまし、世界を明るくし、夢をこの世に実現させる時ではないでしょうか。

私にとって、バッハの音楽とはまさにその極致であり、演奏することにより、演奏を聴くことにより、心が平和と相互信頼にむかって大きく開かれるのです。心の琴線に触れる感性をもつ人は、バッハをとおして、どんな世の中にも生きる喜びを見出せるのです。

先月号の月報でもお知らせしましたが、残念ながら不況の波は、こんな小さな共同体にも容赦なく襲いかかり、週1,2回の練習、年2,3回の演奏会さえも続けられない団員が、短期間にふえてきました。その対策として、来年度は、8月の演奏旅行に重点をしばらく、経費負担の大きい5月、12月の、コンサートホールでの定期演奏会を

順延にして、教会をお借りした特別演奏会に変更させていただきました（月報11月号「来年度は、定期演奏会を順延。代わりに教会で。～夏のドイツ公演に全力を傾注～」に詳報）。

これによって、何よりも、8月の演奏旅行の参加団員45名を満たすことが期待されます。まだ、新年度にならないと、参加できるかどうか決められないという方も多く、定員に達するのは、まだ先になりそうですが、この機会に新しく参加なさる方も、ぜひご希望・お申し込みをお寄せください。

旅行のための資金（目標300万円）は、すでに80万円を越えましたが、さらに多くのご理解ある方々のお力添えを、お待ちしております。

（なお、5年間の予定で、2007年5月から始めた「バッハ・カンタータ50曲選」出版に関する募金は、旅行のための募金と重なってしまいましたが、現在、目標額1000万円のうち、すでに6,618,000円に達しており、開始後1年半で、あともう一息というところまで来ました。）

月報11月号の記事をお読みになった後援会員の方から、次のようなお励ましをいただきました：「バッハ合唱団もさまざまなことを乗り越えて、ここまで続けてこられたのですから、きっとまた先が開けることを信じています。このご期待に沿えるよう、それぞれの持ち場で真剣に戦っておられる皆様と同じように、新しい年を、しっかり見据えて迎えようと思います。」

年末・年始の練習スケジュール

年末 [2008 年 12 月]

- 13日（土）第103回定期演奏会 14:00～16:00
- 15日（月）目白での通常練習＜最終＞18:30～20:30
- 20日（土）桜新町での通常練習＜最終＞15:30～17:30
- 22日（月）恒例・クリスマス忘年会 18:30～20:30

ご家族やお友達を誘って楽しくすごしましょう。
後援会員・団友参加（熱烈歓迎）/ パザー同時開催（献品歓迎）/ ミニコンサート（出演歓迎）/ 軽飲食（差入れ歓迎）
会場：目白聖公会（月曜練習会場）
会費：1000円（当日受け）
参加申込み・問合せ = 事務局 03-3290-5731 まで

年始 [2009 年 1 月]

- 10日（土）桜新町での通常練習開始 15:30～17:30
- 12日（月・祝）目白での通常練習開始 18:30～20:30

バッハ教会カンタータ中のコラール[全 142 篇]
バッハ・コラールハンドブック

1. - 4. / 142

訳詞・大村恵美子

1. Ach bleib bei uns, Herr Jesu Christ
 (ああ、われらと共に留まりたまえ)
 とどまれ 主イエスよ

[歌詞] 第1節: フィリップ・メランヒトン Philipp Melanchton 1579 (ラテン語聖歌 „Vespera iam venit“ による)。第2節以下: ニコラウス・ゼルネッカー Nikolaus Selnecker 1578
 [旋律] BWV 253, 649
 [参考] 歌詞(別旋律) EG 246, EKG 207

教会カンタータ第6番《留まれわれらと夕闇せまり》

BWV 6 »Bleib bei uns, den es will Abend werden«
 第3曲: コラール編曲(S) 第1, 2節(2節連唱)

第1節
 とどまれ 主イエスよ
 はや 夕べと なれば
 み言葉の 光
 われらをはなれじ
 BWV 6/3-1

第2節
 おぐらき この時
 やすきを たまえや
 いまわの時まで
 み言葉 まもりて
 BWV 6/3-2

Choral 1.

1) と ど ま れ 主
 Ach bleib bei uns, Herr
 2) お ぐ ら き こ
 In die - ser letzt 'n be -

イエ ス よ は や 夕
 Je - su Christ, weil es nun
 の と き や す き
 trüb - ten Zeit ver - leih uns,

べ と な れ ば
 A - bend wor - den ist,
 を た ま え や
 Herr, Be - - stän - - dig - - keit,

み こ と ば の
 dein göt - tlich Wort, das
 い き ま わ の と
 daß wir dein Wort und

ひ か り わ れ ら
 hel - le Licht, laß ja bei
 き ま で み こ と
 Sa - kra - ment rein b'hal - ten

を は な れ じ
 uns aus - - lö - - schen nicht.
 ば ま も り て
 bis an un - - ser End.

NBA Sl.B10.p60-62 日本語版「教会カンタータ第6番《留まれわれらと夕闇せまり》」

2. Ach Gott und Herr (, wie groß und schwer)
 (ああ、主なる神よ)
 ああ神よ わが罪大きく重く

[歌詞] マルティン・ルティリウス Martin Rutilius 1604
 [旋律] BWV 255, (692, 692a, 693), 714
 [参考] EG 233, EKG 168

教会カンタータ第48番《悩むわれを救わん者はたれぞ》

BWV 48 »Ich elender Mensch, wer wird mich erlösen«
 第3曲: コラール(単純4声体) 第4節

第1節
 ああ 神よ
 わが罪
 大きく 重く
 救いの 手
 伸ぶるものは
 世になし

1.
 Ach Gott und Herr,
 Wie groß und schwer
 Sind mein begangne Sünden!
 Da ist niemand,
 Der helfen kann,
 Auf dieser Welt zu finden.

(カンタータに使用なし)

第4節
 世にあり
 咎(とが)めを
 受くべき われも
 かしこにて
 救されん
 ここに 悔いさせたまえ

4.
 Soll's ja so sein,
 Daß Straf und Pein
 Auf Sünde folgen müssen,
 So fahr hie fort
 Und schone dort
 Und laß mich hie wohl büßen.

BWV 48/3

Choral 2.

ああ か み よ, わ が つ み お
 Ach Got und Herr, wie groß und schwer sind

お き く お も く, す く い の 手
 mein be - gang - ne Sün - den! Da ist nie - mand, der

の - ぶ る も の は よ に な - -
 hel - fen kann, auf die - ser Welt zu fin - -

し
 - den

NBA Sl.B24.p121

< 凡例 >

- ・コラール表題・・・原詞表題、直訳()内、訳詞表題の順に掲載。直訳は原則として杉山好訳をお借りした。
- ・コラール詳細・・・歌詞作者、旋律の由来、バッハ音楽の中での同一旋律の使用などを、分かる範囲で記した。ドイツ讚美歌(EG, EKG)や日本讚美歌(21, 讃)にあれば、参考としてその旨を付記した。
- ・教会カンタータとの関連・・・当該コラールの使用される楽曲と、そこで選択される詩節を「 」で結んで示す。カンタータの歌詞冒頭に、コラールの第1節が用いられる場合は、両者の表題が同じになるので[同名]と付記した。
- ・掲出する詩節・・・第1節(バッハの使用・不使用にかかわらず)およびカンタータ内で指定された詩節の、訳詞と原詞。
- ・掲載楽譜・・・原則として、カンタータ作品中から単純な4声体コラール楽曲の主旋律を示し、第1節の歌詞を付した。調・テキストなどいずれも「新バッハ全集」に依拠し、出所を NBA Sl. B10. p60-62 の如くに示した(新バッハ全集 NBA=Neuen Bach-Ausgabe、第 編 S=Serie、第 10 巻 B=Band、60-62 ページ)。4声合唱や楽器演奏には、その箇所を参照されたい。当合唱団の出版譜がある場合には、その表題を付記した。

3. Ach Got, vom Himmel (sieh darein) (ああ神よ、天よりみそなわし) 天より見そなわし

〔歌詞・旋律〕マルティン・ルター Martin Luther 1524 (詩編 12 による)
BWV 741 [参考]EG 273, EKG 177

教会カンタータ第2番《天より見そなわし》[同名]

BWV 2 »Ach Got, vom Himmel sieh darein«

第1曲: コラール合唱(旋律A) 第1節

(第2 - 5曲 中間詩節パラフレーズ)

第6曲: コラール(単純4声体) 第6節

第1節
天(てん)より 見そなわし
憐れみたまえ
いかに わずかなる
主につける者。
みことば 畏れず
信仰も 失せ去りぬ
人の子らより

BWV 2/1

第6節
み言葉 まもりて
世の けがれを 避け
歩ましめたまえ
主の み旨のまま。
神なき 民らは
四方(よも)に 満ちみちて
驕(おご)りたかぶれば

BWV 2/6

Choral 3.

てん よ り み そ な わ し, あ
Ach Gott, vom Him - mel sieh dar - ein und
い か に わ ず か な る, 主
Wie we - nig sind der Heil - gen dein, ver -
わ れ み た ま え。 み こ と ば お
laß dich's doch er - bar - men! Dein Wort man nicht läßt
に つ け る も の。
- las - sen sind wir Ar - men;
そ れ ず, し ん こ う も う せ さ り ぬ, ひ
ha - ben wahr, der Glaub ist auch ver - los - chen gar bei
と の 子 ら よ り
al - len Men - schen - kin - - - dern.

NBA SI.B16.p108

『バッハ・コラールハンドブック』の構想

昨年12月号の月報(No.546)で着想をご紹介したあと、コラールの資料集めに時日がかかり、だいぶ遅れておりましたが、やっと見通しが立って、とりあえず月報紙上で始めてみたいと思います。

手許にないコラールの資料については、ライプツィヒのバッハ・アルヒーフと杉山好先生とから、詳細で力強いご教示をいただき、全篇を補完することができました。

コラール原詞表題のアルファベット順に掲出し、巻末にはカンタータ番号(BWV)からの索引も付すことにします。

連載しながら、一冊のハンドブックへとまとめてゆくつもりですので、内容、体裁その他、お気づきのことがありましたら、どうぞご助言いただけますよう、お待ちしております。

4. Ach Gott, wie manches Herzeleid (ああ神よ、いかに多き胸の悩み) しげき悩み いまわれを襲いきて

〔歌詞〕マルティン・モラー Martin Moller 1587
〔旋律〕„O Jesu Christ, meins Lebens Licht“ 1625
〔参考〕歌詞(別旋律)EKG 286

教会カンタータ第3番《しげき悩み いまわれを襲いきて》[同名]

BWV 3 »Ach Gott, wie manches Herzeleid« I

第1曲: コラール合唱(旋律B) 第1節

第2曲: コラール(4声)+レチタティーヴォ 第2節

(第3 - 5曲 中間詩節パラフレーズ)

第6曲: コラール(単純4声体) 第18節

教会カンタータ第44番《ひとびと なられを追出すべし》

BWV 44 »Sie werden euch in den Bahn tun«

第4曲: コラール編曲(T) 第1節

教会カンタータ第58番《しげき悩み いまわれを襲いきて》[同名]

BWV 58 »Ach Gott, wie manches Herzeleid« II

第1曲: コラール編曲(コラールS+アリアB) 第1節

教会カンタータ第153番《主よ 見たまえ わが敵(あだ)は》

BWV 153 »Schau, lieber Gott, wie meine Feind«

第9曲: コラール(単純4声体) 第16-18節(3節連唱)

第1節
しげき 悩み いま
われを 襲いきて
み国 めざす 道
せまく 塞(ふさ)がれぬ
BWV 3/1, 44/4, 58/1

第2節
肉と血 従え
み国を めざすは
いかに 難(かた)きかな
ただ イェスに たよらん
BWV 3/2

第16節
なお 生ける かぎり
勇み 十字架 負わん
備えさせたまえ
従わん いつにても
BWV 153/9-1

第17節
正しく 歩みて
務め 果たさせたまえ
肉に うち克ちて
罪と 恥 逃(の)がれん
BWV 153/9-2

第18節
潔き 信仰の うちに
ながため 生き 死なん
わが 願い 聞きたまえ
主の かたえに 生きん
BWV 3/6, BWV 153/9-3

Choral 4.

し げ き な や み い ま, わ
Ach Gott, wie man - ches Her - ze - leid be -
れ を お そ い き て, み
- geg - net mir zu die - ser Zeit! Der
く に め ざ す み ち せ ま く ふ さ
sch - male Weg ist trüb - sal - voll, den ich zum Him - mel
が れ ぬ
wan - dern soll.

NBA SI.B5.p228

4人組の誕生から、2年目の春

大村 恵美子

昨年（2007年）の春、2月から5月にかけて、合唱団関係の家庭で、あいついで4人のこどもが誕生しました。年が明けると、そろって満2歳を迎えます。長いこれまでの合唱団の歴史の中で、しかも少子化の進んだこの時期に、こんな偶然に出会えたのは初めてで、私にとっては特別な感慨があります。

2月27日、柳元彩音（あやね）ちゃん、
バス団員・柳元宏史氏長女。

4月1日、内山 晴（はる）君、
ピアニスト・内山亜希さん長男。

4月15日、加藤 良（りょう）君、
バス団員・加藤剛男氏第2孫。

5月11日、渡邊慶二郎（けいじろう）君、
大村恵美子の妹、渡邊淳子第2孫。

まだ写真だけでしか、お目にかかっていない方もありますが、ときどき消息を伝え聞くのはとてもうれしく、それぞれのエピソードを心に反芻しては楽しんでいます。4人とも、誕生後に溢れるような愛情を注がれていることは共通で、今後おたがいに接点が生じるのかどうか、どんな将来をたどるのか、みんな未知数ですが、私自身の寿命をはるかに越えて、この世をつくってゆく主人公となってゆくのだと思うだけで、広々とした気持ちでいっぱいになります。

私たちが生きている間、できるだけ、かれらに良いものを残し、負の重荷を減らしておこう、そしてかれら自身に、苛酷な運命が襲いかかることのないように……。こうして具体的に、身近に実在の未来人間を思い浮かべることで、私たちは、人間の存在の恒久性　いまも、のちも、とこしえに　の祈りを、切実にいただくことができ、そのことをかれらに感謝しているのです。

どうぞ、すこやかに育ててくださり、折りにふれて消息を伝えてくださって、私たちの心を末永く鼓舞していただけますように、これが、2008年の特別な感謝と、2009年への希望です。

Web サイト: バッハ教会カンタータ 日本語歌詞
アドレス変更のお知らせ

バッハ教会カンタータの日本語演奏の普及をねがって、昨年12月より、当合唱団の上演用日本語歌詞を Web 上に公開しています。

このたび、下記のとおりアドレスを変更させていただきました。

<旧> <http://members.aol.com/bachtext/>
<新> <http://www.ab.auone-net.jp/~bach/>

リンクを張っていただいたり、あるいは引用していただくなど、ご協力くださっている皆様には、お手数ですが、ご訂正をお願い申し上げます。

カンタータ第36番《喜びのぼれいと高き星に》

先日、教会でクリスマスツリーを飾った。ついこのあいだオーナメントの飾りつけをしたような気がして、1年のめぐりの早さに感嘆している。この合唱団の一員になってから2年の歳月が流れたことになる。第100回の記念すべき定期演奏会の《マタイ受難曲》から加えていただき、練習の参加はあまり芳しくないながら、バッハのカンタータの魅力の虜になり、オーケストラつきで歌うことのできる幸せを噛みしめている。来る12月13日は、103回の定期演奏会でカンタータ122番《新たのみどりご 小さきわがイエスは》を演奏する。クリスマスと新年に向けた曲である。18世紀、バッハはどのような思いで演奏していたのだろうか、と問いをめぐらすとわくわくする。

今回紹介するカンタータ36番（待降節第1日曜日用）は、合唱団の90回定期演奏会で演奏されたもので、《マタイ》同様、節目で演奏された記念すべき曲だったのではないだろうか。今年演奏する122番のカンタータに比べ、コラール楽曲が多く（全8曲中4曲）、1曲ずつ縫うように登場し、曲の構成が面白い。いずれも聞き覚えのある有名なコラールで、第2,6,8曲はM.ルター いざ来たりませ 世の救い主、第4曲はP.ニコライ あしたに輝く たえなる星よ。初演は1731年、《マタイ》（1727年4月初演）よりも後の作品で、円熟期にあったといっただろう。コラール重視の構成も、試験的というよりは確信に満ちたものだったのではないだろうか。

最後のコラール（第8曲）は、

ほめよ み父を
ほめよ ひとり子を
ほめよ み霊を
世々 とこしえに

とドイツの香り濃厚で、内容は三位一体の神を讃えるものであり、現在でも礼拝の最後に会衆全員が歌う「頌栄」という曲の役割を果たしているようである。たっぴりと4声で歌っている最後のコラールは、ぴったりと落ち着く仕上がりとなっている。個人的にコラールを聞くとなんだか満たされる。それだけに、このカンタータには、一貫して御子の誕生による安心感が漂っているように感じる。

この一年を振り返ると、最後まで様々な事件に心痛められることしきりであった。年末にあたり、静かなそして幸せな年の瀬と新年となることを祈りたい。

（やなぎもと・ひろし）

CD バッハ・カンタータ50曲選 [第5巻] に収録。S 光野孝子、A 佐々木まり子、T 佐々木正利、B 渡邊明・大村恵美子指揮・東京バッハ合唱団/東京カンタータ室内管弦楽団。2001年録音（第90回定期演奏会、石橋メモリアルホール） 楽譜：「50曲選」No.11